### 第 8 号

編集・発行 岩見沢市教育委員会

〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

### 教育広報

## いわみざわ市の教育

…特集…

移動市長室











### 『志文小フェスティバル』

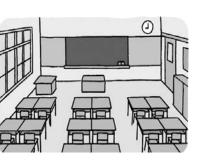
12月5日(金)に開催された志文小フェスティバル 射的、くじ、宝探し、おばけやしき…など工夫をこらした お店がたくさん!みんな本当に楽しそうにしていました♪



います。 北村中学校で総合的な学習の時間を使 ではそのときの様子を紹介したいと思 い、移動市長室が行われました。今号 11月18日と20日にそれぞれ緑中学校、

し、**自分が市長だったら**…』をテーマ はじめに、各クラスの代表者が『も

それを解決するにはどうしたらよいの に発表・提案を行いました。 中学生の目線で地域の課題を発見し、



次のとおりです。 各学校でのおもな発表・提案内容は



▽現在ある観光名所や娯楽施設をリ ていく マ地域が活気づくような行事を行っ

マ子育てにかかる経費補助で人口増 ニューアルレ観光客を増やす

マ市民の交流の場を増やす

を図る

マ岩見沢をよりPRする マ駅前をより快適にする

マ安全で困らない人にやさしいまち、 地球にやさしいまちをめざす

マ全国的に有名になるような名物を つくり、それを目玉にして岩見沢 を活性化させる

マ町内会に資金提供や作業の人的な 樹を行う 協力をし、街灯をつくったり、植

マリサイクルや放置自転車の処理を 行い、環境をよくしていく









緑中学校での様子

のみなさんが自分たちのまちのことを

しっかり考え、まちの将来を思い描い

渡辺市長はそのひとつひとつに真剣に

このほかにもさまざまな提案がされ、

耳を傾け回答をしていました。中学生

北村中学校での様子

れたことがあり、その出来事が人生の 長が中学生時代の出来事についてです。 は『夢』をテーマにお話がありました。 ていることに市長は驚いていました。 転機になったそうです。 て真剣に考え、涙ながらに話をしてく 当時の担任の先生が自分の将来につい **『これが私の生きる道』**、北村中学校 両学校で共通にお話があったのは市 続いての市長講話では、緑中学校は

に中学生のみなさんもすっかり聞き 入っていました。 市長の体験談を交えた興味深いお話

こんなメッセージがありました。 そして、中学生のみなさんに向けて

な壁にぶち当たったときも今の精神を

『社会へ出て行ったとき、さまざま

思い出してください。 うやさしく貢献していくかが重要だと の時代にはマッチしないと思います。 持って欲しいと思います。自分だけが 良ければ良いという考えは、これから みなさんにはぜひやさしい気持ちを 社会に何を貢献し、まわりの人にど

> に貢献していくことにつながるのでは ないでしょうか。 思います。そのことが地域や国、世界

積み上げていってほしいと思います。 生懸命に汗をかいて、少しずつ経験を 友情など、今の自分ができることに一 そして、勉強やスポーツ、仲間との みなさんが将来、高校生、大学生、

> を発揮して、岩見沢を支えていってほ 社会人になっても若いパワーと行動力 しいと心から願っています。』

した。 を期待しながらお話はむすばれていま 最後に、中学生のみなさんとの再会



## 5紹介していきます。

# 地域に見守られて

### 幌向小学校



ます。 中に下級生を挟 全校を縦割りに 練を行ってます。 み教師が引率し に荒天時を想定 し前後を上級生 )た集団下校訓 この訓練は、

昨年度より、

幌向にある子ど

のとしており、地域全体で子ども達を守っていこうと 保護者に声をかけられ見守られながらの風景はほのぼ 目で児童の下校訓練を見守っています。地域の方々や 方々、今年度はさらにPTA役員にも呼びかけ、多くの 組織の「幌向子ども安全まもり隊」や青少年補導員の もの安全を守る

にとっては非常に大切です。 めている日々の見守り活動が子ども安全・安心の確保 こうした中、このような取り組みを中心として、現在進 子どもを取り巻く状況は決して良くはありません。

る取り組みを今後も継続したいと考えています。 地域とともに歩む本校としては、このような意義あ

せん。



で始まった5年生の米 バケツ稲の取り組み

始まりました。 チョ感覚の「田植え」か を手作りし、グチョグ 的にということで水田 ら初挑戦の水田学習が どうせやるなら本格

(十八手間とまではいきませんが、夏の世話を通して 肥料やりに病気の心配が 草取りや水の調節、

様々なことを体験し考えることができました。 秋の始まりとともに、頭を重そうに垂れていく稲穂

ぴり実感できました。 生の楽しみは尽きま 架(はさ)掛けや脱穀 感謝する農家の皆さ した5㎏の白米をど からは、収穫を喜び、 う調理するか。5年 んの気持ちもちょっ 精米も体験し、収穫 今では懐かしい稲

いうものでした。



## 実りの秋」実感! 〜手作り水田〜 東小学校

# 地域の教育力を活用して

京等单

上幌向中学校



います。 豊か・心豊か・健康(ち て様々な行事を展開して てるために地域と連携し から)豊か」な生徒を育 本校の教育目標「知性

前的2300小。

われる、クリーン作戦 生徒会が中心となって行 (春・秋)、除雪ボラン 例年行っているのは、

共に、住みよい町づくりに貢献しています。 験を通し地域の方々との交流を深め地域を理解すると ティア(2月)・地域の祭りへの協力参加等、多様な体 また、昨年度からほろむい太鼓同士会の方々のご協

ます。地域の文化を体 験学習 (今年は1・2 育活動を展開していき 験し、心豊な情操を養 年)にも取り組んでい 力を頂き、和太鼓の体 かれた学校」として教 りにもつながっていま うことや学級のまとま 今後も地域に「開

たいと思います。

動の旅でした。

ができた、体験と感

らしさに触れること



や産業を学び、大沼 研修で函館市の歴史 でのカヌー体験で大 した。この他、自主



サケ定置網起こしや水産物加工作業を体験しました。

くの方々からの歓迎を受け、



町を中心とした4日間 の体験活動の旅を経験 月1日より道南の松前 める「子ども農山漁村交 を受け、2年生25名が10 流プロジェクト」の指定 今年度、本校は国が進

松前城などの史跡見学、 町長をはじめとする多 しました。 松前町では、前田一男



# 体験と感動の旅!

## 豊中学校

# 



会を開催しました。 11月28日金に本年度市P連教育懇談

た。 てそれに伴う教育環境に目をむけまし通ることの出来ない少子化問題、そし一今会では、現代社会において避けて

岩見沢市PTA連合会教育懇

设創心

 懇談会の冒頭では、ただ「少子化を ではないかと思います。
懇談会の冒頭では、ただ「少子化を を流される事で、子どもを育てていこ をごされる事で、子どもを育てていこ をごされる事で、子ども達が健やかに がでの活動や取り組みなどが紹介され をごされる事で、子ども達が健やかに がでの活動や取り組みが をごされる事で、子ども達がはか、 をごされる事で、子ども達がしたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、それぞれの活動や取り組みが はたが、そが重要であると再確認出来たの ではないかと思います。

> 教育環境の原点 の幸せを願う大人 の強い意志に託さ れていると考えま



めに活動していきたいと考えています。う、市P連はこれからも子ども達のたるさと』となるよ『まち』が子ども達にとって『誇れるふ

# 年度の主な行事報告



市P連研究大会

8月

南空知尸連研究大会(月形)

10月

南空知尸連母親研究大会(由仁)全道尸連研究大会(芦別)

〈問合先〉

☎22局2618 K24局7262 事務局長 石丸 由美子岩見沢市PTA連合会事務局

# 母親委員会から

されています。とれています。とれている女性(母親委員)で構成は、市内小中学校でPTAの役員などは、市内小中学校でPTAの役員などは、市内小中学校でPTAの役員などは、市内小市の大学では、おいますが、

育っていこうと活動しています。 A活動の主力となって活躍しています が、それだけに止まらず、各校つながが、それだけに止まらず、各校つながが、それだけに止まらず、各校つながが、の親ならが、とれぞれの学校でPT

今年度は、11月10日月に光陵中学校 高さいただきました。学校給食協同において、市内3カ所の学校給食協同 において、市内3カ所の学校給食協同 において、市内3カ所の学校給食協同 において、市内3カ所の学校給食協同 ででできることです。」とお話いた がを食する良い点は、安全・安心・旬・ で食べることは、人と人とのつながり がやでできることです。」とお話いた がたのが印象的でした。

解を深める事が出来ました。 で改めて食の大切さについて考え、理 お見沢の給食について担当の栄養士さ 岩見沢の給食について担当の栄養士さ 湯演の後、5つのブロックに別れ、

### 全国大会でも上位に 食い込む岩見沢の選手

ミントン協会 ます。 立し、今日を迎えてい 年3~4回全道大会を 協会の指導のもと、毎 ン協会は昭和28年に設 北海道バドミントン 岩見沢市バドミント

開催しています。 '協会も、過疎化・少子 現在、当バドミント

昨年の

全国小

います。

特に、

出して 多く輩 も達を る子ど 活躍す 全国で

のより一層の発展と活性化、競技人口 少、協会役員の高齢化、また、参加者不 めていかなくてはならないと感じてい の維持・拡大、健やかなる選手育成を柱 深刻な問題を抱えています。協会運営 足による社会人大会の開催中止などの 化の進行に伴うバドミントン人口の減 に、地区協会としても早急に検討を進 り、平成20年11月には中国遠征に行っ ないナショナルチームのメンバーにな 績を収め、見事全国で10人しか選ばれ 第3位、その後のナショナルメンバー ス)において東野有紗選手(美園小)が 勝、個人戦(5年生以下女子シングル 生を中心にした男子団体チームが準優 学生大会において、岩見沢市内の小学

(U―13)選考合宿においても優秀な成

日常生活と美芸術、特に美術との関係 を見直そうと活動を続けています。

新たに同好会を結成し、新たな視点で

そうした中、ここ10年間を顧みると、

ら実施 る小・ 年度か 平 成 10 してい

表れ、 成果が 強化の の指導・ 中学生 全道

て来ました。

ると考えています。 につながり、現在の小・中学生の競技力 あることが、指導者の指導技術の向上 向上と好成績を生み出す源になってい 会に出場するのはとても厳しい状況に 南空知地区予選を勝ち抜いて全道大 力を注ぐ熱心な指導者が多くいます。 岩見沢市内にはジュニアの指導に

成に努力して行きたいと考えています。 らに上を目指す選手・健全な青少年育 今後は、現状に満足することなく、さ

アートとして

日常を見直すこと 社会芸術同好会

いものでした。芸術は

みを持ってもいいはずなのです。 く接することが出来るはずだし、親し ならばあまり硬く構えずもう少し楽し そこで北教大岩見沢校有志で今年度

テーマは「食べること」だったと思いま 今年の同好会の活動を振り返ると

わいました。 くさんの人と採れたての美味しさを味 マトやキュウリなどの農作物を育てた 春には畑を耕すところから始め、ト



サツマイモの収穫

モットーに今日も社会芸術同好会は活

楽しく・構えず、しかし本気で

構えてしまいがちなも 聞くとなんとなく硬く 芸術ってなに…?と

サツ

かし、古代の芸術

の役割は悲しみの表現 日常から出てきたもの。 ティの形成に欠かせな 方法であり、コミュニ 片手 芋を 焼き 収穫 モも

に焚き火を囲みながら過ごすなど、畑 その分室内での活動を充実させていき 冬には外での活動は難しくなりますが 作りなどにも取り組んでみました。 では、鹿の皮なめしや鹿の毛フェルト ています。そのほか衣食住の衣の部分 ウィンパーティなどの行事へも参加し まま、季節の食材でのお食事会やハロ た。また、その他にも部員の興味の赴く から広がるコミュニティを体感しまし たいと思っています。

延長でありながらそれを見直すことに す!自分の作った作品で自分の作った 器作り、調理器具作りなどが目標で 内の施設を利用した様々な素材での食 つながるのではないでしょうか? ) 飯を食べると言うのは日常の行為の この冬は陶磁・木材・金工といった学



鹿の皮なめし

叱られたことを今でも鮮明に…。 の内容は全く記憶になく、 通りがかり、こんこんと説教をされ たことを覚えています。 ました。今思えば、 へられるものではなかったのですが 幼い頃、 そこに、近所に住むおじさんが 悪友とすももの木に登り 青くてとても食 もっとも話 ただただ

くさんあります。 :験や経験を通して学ぶことはた

の中で多くのことを学びます。 ち方など、まずは家庭での日常生活 正しい方向へ導びかれることは、子 詁の聞き方、靴の揃え方、はしの持 ともたちにとって当たり前のこと。 た行いをした時に「ちがうよ!」と いね!」と褒められること、 かし、現状はどうでしょうか? 子どもたちは、あいさつの仕方、 物事がうまくすすんだ時に「すご 、間違っ

…4 分の 1 本

…小さじ 1 杯

…大さじ3分の2杯

学んでいきます。 乗車の仕方など様々なきまりなども 成長とともに行動範囲もひろが 公園での遊び方、バスや電車の

簡単給食U

(11月の給食より)

ごま油

無添加ポークハム …40 g

万々から教わることも多々…。 冢庭で教えるべきことはたくさん |域の人間関係の希薄化や教育力 そして学校や地域に住む

家庭でできる

春雨 (乾燥) …32 g

【ドレッシング】

\*\*作り方\*\*

胡瓜

溪油

る地域もあります。 低下が指摘されている昨今です 地域行事を積極的に推進してい

にかかわっていきたいものです。 冬本番、 私たち保護者は、我が子はもちろ 未来を担う子どもたちと積極的 暦は新しい年を迎えまし

すんでいってほしいものです。 る一つの重要な時期でもあります。 年生にとっては自分の将来を見定め のまとめの時期。とりわけ、 たが、子どもたちにとっては現学年 姿を想像しながら、 自分自身をきちんとみつめ、 自分の道をす 中学3

公公公公公公 是這て段題也入今—

るさまざまな事業を開催し、 て子どもを生み育てることができる ポートするために、子育てを応援す う子どもたちの健やかな育ちをサ よう子育てに関する相談の充実を 当センターでは、 新しい時代を担 安心し

について紹介していきます。 子どもが、心安らかに成長する。 今回は「リフレッシュ支援事業」

とをねらいとして、子育て中の親が

図っています。

(4人分) \*\*

…1 本程度

…大さじ 1 杯

…大さじ3分の2杯

ハム・胡瓜・人参は、干切りに切る。

① 春雨は、好みの固さにゆでて、しっかり冷ましておく。

(給食では、さっとゆでて冷ましてから使用しています)



サラダもこんなに大きな お鍋(釜)で作っています。

### ひとくちメモ

給食のサラダの中で一番人気があります。 ドレッシングは、家庭で作るのが面倒だったり、ちょっと難しいと感じて いる方も多いと耳にします。

このドレッシングは、特別な材料を用意することなく、

安心して食べられるドレッシングぜひお試しください!

教育広報の WEB 版でカラー写真もご覧 いただけます!

教委HPのトップページにある、 ロゴをクリックしてご覧下さい。



### ご要望をおよせください=

<担当>

岩見沢市教育委員会企画総務課情報企画係 **T** 068-8686

岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

0126-23-4111 (内線 416) R

0126-25-2995 FAX

ejyouhou@i-hamanasu.jp

報紙にも掲載されますのでご覧くだ 員になっています。 講座を年2回開催しています。 イムの一環として、託児室を設けた い関係を築くためのリフレッシュタ レスをためることなく、子どもと良 イスストレッチング」を予定してい 毎年好評で、 今年度も講師を招き、「初めての 」や3月8日日開催予定の「フェ 申込開始後すぐに定 詳しくは市の広

陶芸\_

ます。

合先 ☎22局3337

8

仕事や家事・育児による疲れやスト